

2026年度

法科大学院

入学者選拔要項

< 開放型選拔・一般選拔 >



CHUO LAW SCHOOL

中央大学

— 目 次 —

1	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）・個人情報の取扱いについて …	1
2	＜開放型選抜＞について ……	2
2-1	入学者選抜の日程と方法について＜開放型選抜＞ ……	2
2-2	出願について＜開放型選抜＞ ……	3
2-3	出願書類の記入・提出方法について＜開放型選抜＞ ……	6
2-4	筆答試験について＜開放型選抜＞ ……	6
2-5	合格発表と入学手続について＜開放型選抜＞ ……	6
3	＜一般選抜＞について ……	8
3-1	入学者選抜の日程と方法について＜一般選抜＞ ……	8
3-2	出願について＜一般選抜＞ ……	10
3-3	出願書類の記入・提出方法について＜開放型選抜・一般選抜＞ ……	15
3-4	筆答試験について＜開放型選抜・一般選抜＞ ……	23
3-5	合格発表と入学手続について＜開放型選抜・一般選抜＞ ……	25
4	受験番号について ……	26
5	学費と奨学制度について ……	27
6	アンケートについて ……	29
	志願者調書記入例 ……	30
	記入コード一覧 ……	31
	コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料納入方法 ……	36
	可否速報サイトの操作方法 ……	37

1 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)・個人情報の取扱いについて

〈求める人材〉

高度な識見と素養を有し、多様な分野で活躍できる法曹を養成することを目指し、明確な将来目標をもつ人材を受け入れます。

法学未修者については、論理的思考力と文章作成力を備えるとともに、社会性、成熟性、コミュニケーション能力などの法曹としての資質を有する人を求めます。

法学既修者については、未修者に求める資質に加え、法科大学院課程1年次の学修を終えた者と同等以上の法律学の知識（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法についての基礎的な知識）を修得している人を求めます。

入学者選抜は、客観性、公平性、開放性、多様性の確保を旨としつつ、総合的な観点から実施するものとします。



注 意 事 項 (かならずお読みください)

この2026年度法科大学院入学者選抜要項に掲載されている内容は、[2025年5月23日時点]のものです。

社会状況の変化等により、今後、2026年度法科大学院入学者選抜要項に記載された内容を一部変更する可能性があります。

変更が発生した場合には、改めて、中央大学法科大学院公式 Web サイトにてお知らせいたしますので、出願・受験にあたっては必ず Web サイトを確認してください。（「事前出願受付」をいただいた方には、メールでもお知らせします。）

受験生の皆様にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

【中央大学法科大学院公式 Web サイト】

https://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/law/



個人情報の取扱いについて

中央大学では、出願の際に提出される志願者調書等の書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報については、「中央大学個人情報保護規程」および「中央大学個人情報保護方針」に基づき細心の注意を払って取扱い、①入学者選抜実施（出願処理・選抜実施）②合格発表 ③入学手続 ④各種統計処理 ⑤特別給付奨学金採用を行うために利用します。

また、上記利用目的のために、個人情報の一部の取扱いを、個人情報の取扱いに関する契約を締結したうえで外部業者に委託することがあります。

なお、公的機関等が司法試験制度や入学者選抜試験の改善を目的として実施する調査・研究活動に協力するため、個人が特定できない統計用データを実施機関に提供することがあります。

2 ＜開放型選抜＞について

1. 「開放型選抜」とは

大学の法曹基礎課程に在籍する学生を対象とした入試です。

※「法曹基礎課程」とは、法科大学院の教育と司法試験との連携等に関する法律第6条に基づき、いずれかの法科大学院との間で法曹養成連携協定を締結した大学に設置された課程をいいます。

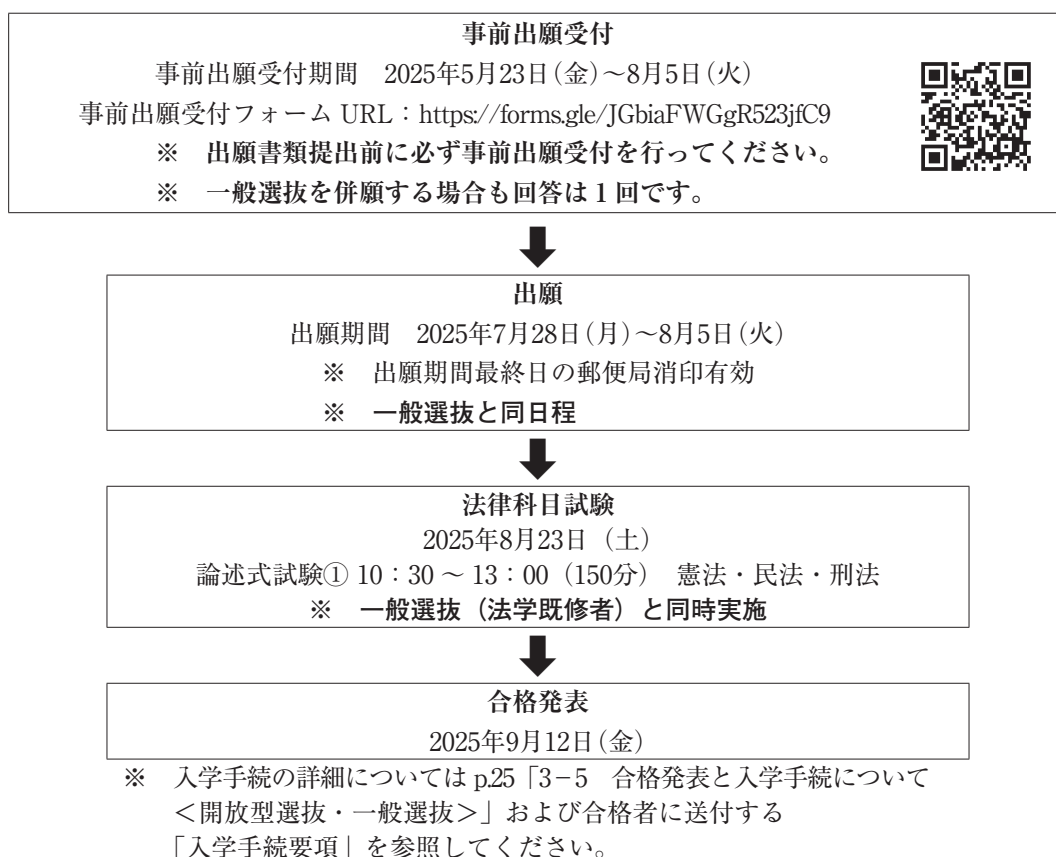
※ 法学既修者（2年コース）対象となります。

2-1 入学者選抜の日程と方法について＜開放型選抜＞

1. 募集人員

20名

2. 入学者選抜の日程と流れ



3. 入学者選抜の方法

下記項目を総合的に評価して可否を判定します。

- ① 中央大学法科大学院が指定する法律基本科目 p.3の(注1)に相当するものと認められる科目のうち修得済みの科目の成績
- ② 上記①以外の提出書類(志願者調書、任意提出資料等)
- ③ 法律科目試験の成績

法律科目試験

2025年8月23日(土)実施 ※一般選抜と同時実施

時限	科目	集合時間	試験時間	配点		出題範囲
1	論述式試験①	10:00	10:30～13:00 (150分)	360点	憲法120点	憲法全般
					民法120点	民法全般
					刑法120点	刑法全般

- ※ 六法の持込みはできませんが、試験時に六法を配付します。
- ※ 法律科目試験は、入学者選抜であると同時に、1年次配当の所定の法律基本科目（必修）の履修を一括免除するための試験であるため、1科目でも成績が極端に低い場合には、法学既修者との判定に至らず、不合格となる場合があります。
- ※ 一般選抜（法学既修者）と併願する場合は、論述式試験②（民事訴訟法、刑事訴訟法、商法）も受験する必要があります。

【民法の出題について】

これまでに改正された民法及び関連法のうち、試験実施時に施行されているものは、すべて出題範囲とします。

2-2 出願について＜開放型選抜＞

1. 出願資格

出願時において、以下の1)～3)を全て満たす者。

- 1) 法曹基礎課程3年次以上に在籍し、修了する見込みである者。もしくは、法曹基礎課程を修了したが、中央大学法科大学院が正当な理由があると認めた者。
- 2) 2026年3月31日までに大学を標準修業年限*以内で卒業する見込みである者。
もしくは、標準修業年限を超過して卒業する見込みであるが、中央大学法科大学院が正当な理由があると認めた者。
*入学した課程において卒業までに必要とされる期間を指す。入学した年度から起算して4年目の年度末までの期間。
例えば、2022年度入学者は、2026年3月までの期間を指す。
- 3) 中央大学法科大学院が（注1）で指定する法律基本科目（当該科目の範囲を含む。）について2026年3月31日までに単位を修得する見込みの者。もしくは、修得した者。

（注1） 中央大学法科大学院が指定する法律基本科目は下表のとおりです。

科 目	範 囲
憲法	憲法全般
民法	民法全般
刑法	刑法全般
民事訴訟法	民事訴訟法全般
刑事訴訟法	刑事訴訟法全般
商法	会社法
行政法※	行政法総論および行政救済法

※ 開放型選抜における出願資格・入学資格において「行政法」の修得は必須としません。

2. 事前出願受付について

※ 出願書類提出前に必ず事前出願受付を行ってください。

出願書類作成・提出前に「開放型選抜・一般選抜 事前出願受付フォーム」に回答してください。回答後、回答内容が記載されたメールが届きますのでそちらを印刷のうえ、出願書類に同封してください（「3. 出願書類」参照）。また、志願者調書作成時は本フォームで回答した内容と一致するようにしてください。

- ※ 開放型選抜と一般選抜を併願する場合、回答は1回のみで問題ありません。
- ※ 回答内容が記載されたメールが届かない場合、迷惑メールフォルダに送られている、もしくはフォームに入力したメールアドレスに誤りがある可能性があります。迷惑メールフォルダ及びメールアドレスをご確認のうえ、改めてフォームにご回答ください。
- ※ “～@g.chuo-u.ac.jp”からのメールを受信できるように設定してください。

事前出願受付フォームURL：<https://forms.gle/JGbiaFWGgR523jfC9>



3. 出願書類

以下の出願書類について、p.15「3-3 出願書類の記入・提出方法について＜開放型選抜・一般選抜＞」に従って作成し、提出してください。なお、出願書類については本学 Web サイトにてダウンロードのうえ、出力（A4・片面印刷）してください。所定フォーマットは、文書作成ソフト等を利用して、改変しないでください。

また、同時期に実施する一般選抜との併願を希望する場合、重複する出願書類は1通のみの提出で出願可能です（ただし、同一封筒に入れて郵送してください）。

(1) 開放型選抜の必須提出書類（丸数字は書類番号を表します）

書類 番号	提出書類	中央大学との法曹連携協定を	
		締結している大学の 法曹基礎課程に在籍の方	締結していない大学の 法曹基礎課程に在籍の方
①	志望コース選択欄および誓約書（開放型選抜・一般選抜）	●	●
②	写真票（既修者）	●	●
④	志願者調書（共通）1/4、2/4	●	●
⑤	志願者調書（既修者）3/4、4/4	●	●
⑦	提出証明書一覧（共通） （任意提出書類がある場合は一緒に留めてください）	●	●
	大学の卒業（見込）証明書および成績証明書 （出願時において取得できる最新のものの）	●	●
	法曹基礎課程の修了（見込）証明書 （出願時において取得できる最新のものの）	●	●
	「開放型選抜・一般選抜事前出願受付フォーム」の 「回答内容が記載されたメール」を印刷したもの （p.3「2. 事前出願受付について」参照）	●	●
	ホ チ キ ス 留 め 【外国籍の方のみ必須】 在留カードまたは特別永住者証明書のコピー	○	○
	【改姓・改名された方のみ必須】 戸籍抄本等のコピー（3か月以内に発行されたもの）	○	○
	【法科大学院に在籍履歴のある方のみ必須】 法科大学院に関する証明書	○	○
	在籍する大学の法曹基礎課程のカリキュラム表	—	●
	中央大学が指定する科目（p.3注1参照）に相当する 科目のうち、履修された年度の「民事訴訟法全般」 「刑事訴訟法全般」「商法（会社法）」のシラバス（両 面コピー可）※ 別途ホチキス留めしてください。	—	●
	履修証明書のコピー（秋学期以降を含む2025年度中 に修得予定のすべての科目が分かる書類） ※ 在籍されている大学で履修証明書の発行がされ ていない場合は、お問い合わせフォームよりお問 い合わせください。	—	●

●…必須提出書類 ○…条件により必須提出書類

(2) 任意提出書類

以下の書類については、任意提出ですが、審査において考慮することがあります。なお、**志願者調書に記載した資格等については必ず証明書を添付してください。**証明書が添付されていない場合は、調書の記載を無効とします。

- 各自が志望する法曹像に即した学修に役立つ資質や能力を証明する書類（外国語能力証明書、国家資格試験合格証または資格を証明する書類等※ p.20参照）

(3) 注意事項

- ① 開放型選抜においては、「推薦書」の提出は不要であり、一切審査の対象としません。
- ② 出願期間最終日である2025年8月5日（火）までに、出願書類に同封して提出した証明書を有効とし、出願

後の追加提出等は一切受け付けません。

- ③ 一度提出した出願書類（任意提出のものを含む）は、返還しません。
- ④ コピーした証明書類を出願書類として提出した場合、後日原本の提示を求めることがあります。
- ⑤ 提出した書類に重要事項の不記載、虚偽記載、偽造または変造があることが判明した場合および提出すべき書類を提出しなかった場合は、合格または入学許可を取り消します。

4. 出願方法

- (1) 「提出書類冊子」の「出願用封筒ラベル（要カラー印刷）」を貼付した角2封筒（各自でご用意ください）に出願書類を番号順に並べて封入してください。なお、一般選抜と併願する際は、必ず同一の封筒に入れて出願してください。
- (2) 出願書類は一括して必ず速達・簡易書留で郵送してください（出願期間最終日の郵便局消印有効）。出願書類の窓口での受け付けは行いません。
- (3) 郵送時に郵便局から受領する「書留郵便物受領証」は、必ず保管してください。
- (4) 出願書類に不備がある場合は、出願を受け付けないことがあります。
- (5) 出願後の出願書類内容の変更は、一切認めません。

5. 併願

5年一貫型選抜、一般選抜との併願を妨げません。

6. 入学検定料

- (1) 入学検定料は、35,000円です。ただし、同一願書で、一般選抜の法学既修者コースに出願した場合に限り、2出願以降の入学検定料を免除します。
例1 開放型選抜と一般選抜（法学既修者コース）に出願する場合：35,000円
例2 開放型選抜に出願後、別願書で一般選抜（法学既修者コース）に出願した場合：70,000円
※ 同一人が異なる願書で追加出願した場合、併願として取り扱うことはできません。「個別の出願」として取り扱います。
- (2) 入学検定料の納入方法は、以下のとおりです。
 - ① 納入期間は、2025年7月28日（月）～8月5日（火）です。
 - ② 入学検定料は、コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの納入となります。詳細は、p.36「中央大学法科大学院コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料納入方法」を参照してください。コンビニエンスストアを利用する場合は、「ネット受付店頭支払いの場合」に従い、コンビニエンスストアで「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。クレジットカードを利用する場合は、「オンライン決済の場合」に従い、「入学検定料・選考料取扱明細書」を印刷してください。
 - ③ 「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、志願者調書1/4の「入学検定料収納証明書貼付欄（既修）」に必ず貼付してください。
※ クレジットカード決済でボタンの二度押しによる二重支払いが発生していますので、ご注意ください。
- (3) 一度納入された入学検定料は、出願書類の提出・未提出にかかわらず返還しません。
※ 特定の事由により返還が認められる場合があります。

7. 受験票

- (1) 受験票は、出願書類を受理し、確認を行った後に志願者調書の志願者基本情報の欄に記載の住所へ順次発送します。出願から受験票の到着まで時間を要するので、出願期間中なるべく早い時期に出願してください。
- (2) 2025年8月18日（月）までに受験票が到着しない場合は、法科大学院事務課まで問い合わせてください。
- (3) 受験票には受験番号が印字されています。受験番号の詳細は、p.26「4 受験番号について」を確認してください。
- (4) 筆答試験の当日は、受験票を持参してください。
- (5) 試験の際、解答用紙等の受験番号欄には、先頭の1桁目を除く4桁の個別の番号を記入してください。
- (6) 受験票の紛失、忘れまたは未着の場合、筆答試験当日については、仮受験票交付所（p.24下図参照）で「仮受験票」交付の手続を受けてください。なお、筆答試験当日の仮受験票交付の手続は試験開始1時間前より受付を開始します。

8. 受験および修学上特別な配慮を必要とする場合

身体の機能に障がいがあり、受験および修学において特別な配慮を必要とする方は、出願前（入学検定料を振り込む前）かつ2025年7月11日（金）までに法科大学院事務課に問い合わせてください。また、病気や怪我のため、受験に支障をきたすおそれがある方については、直ちに連絡してください。

〈問い合わせ先〉ロースクール（駿河台キャンパス 法科大学院事務課）

お問い合わせフォーム <https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=26>



2-3 出願書類の記入・提出方法について〈開放型選抜〉

p.15「3-3 出願書類の記入・提出方法について〈開放型選抜・一般選抜〉」をご参照ください。

2-4 筆答試験について〈開放型選抜〉

p.23「3-4 筆答試験について〈開放型選抜・一般選抜〉」をご参照ください。

2-5 合格発表と入学手続について〈開放型選抜〉

1. 合格発表

p.25「3-5 合格発表と入学手続について〈開放型選抜・一般選抜〉」の「1. 合格発表」をご参照ください。

2. 入学手続

p.25「3-5 合格発表と入学手続について〈開放型選抜・一般選抜〉」の「2. 入学手続」(1)・(2)をご参照ください。

3. 入学資格

開放型選抜で本学法科大学院に合格し入学する場合には、2026年4月1日時点において、以下の条件を全て満たす必要があります。

- 1) 法曹基礎課程を修了した者
- 2) 大学を卒業した者
- 3) 中央大学法科大学院が（注1）で指定する法律基本科目（当該科目の範囲を含む。）の単位を修得した者。ただし、法曹基礎課程（「協定関係にある大学」を除く。）の設置科目が中央大学法科大学院が指定する法律基本科目の範囲を充足していないと認められる場合は、別途実施する認定試験（※）に合格することを求めることとする。

※ 認定試験を受験する必要がある者については、開放型選抜の合格発表時に案内します。

また、学部4年次在籍中で希望する者については、試験当日の論述式試験①の後、同日に実施される論述式試験②を用いて、当該試験に替えることができます（行政法を除く）。希望される方は、p.16「⑨法曹基礎課程の在籍有無、4年次のみ別途実施する認定試験の受験希望有無」にて「2」を選択して下さい。

一般選抜（法学既修者）の併願をする場合に限らず、負担軽減のためにご検討ください。（p.9「3. 入学者選抜の方法」をご参照ください。）

(注1) 中央大学法科大学院が指定する法律基本科目は下表のとおりです。

科 目	範 囲
憲法	憲法全般
民法	民法全般
刑法	刑法全般
民事訴訟法	民事訴訟法全般
刑事訴訟法	刑事訴訟法全般
商法	会社法
行政法※	行政法総論および行政救済法

※ 開放型選抜における出願資格・入学資格において、「行政法」の修得は必須としません。

4. 入学者選抜試験の成績開示について

入学者選抜試験の終了後、希望者（受験者本人に限る）を対象として入学者選抜試験の筆答試験の成績を開示します。受付期間等の詳細は、後日、公式 Web サイトにて発表します。

なお、成績開示の際は受験票が必要となりますので、受験票は大切に保管するようにしてください。

3 <一般選抜>について

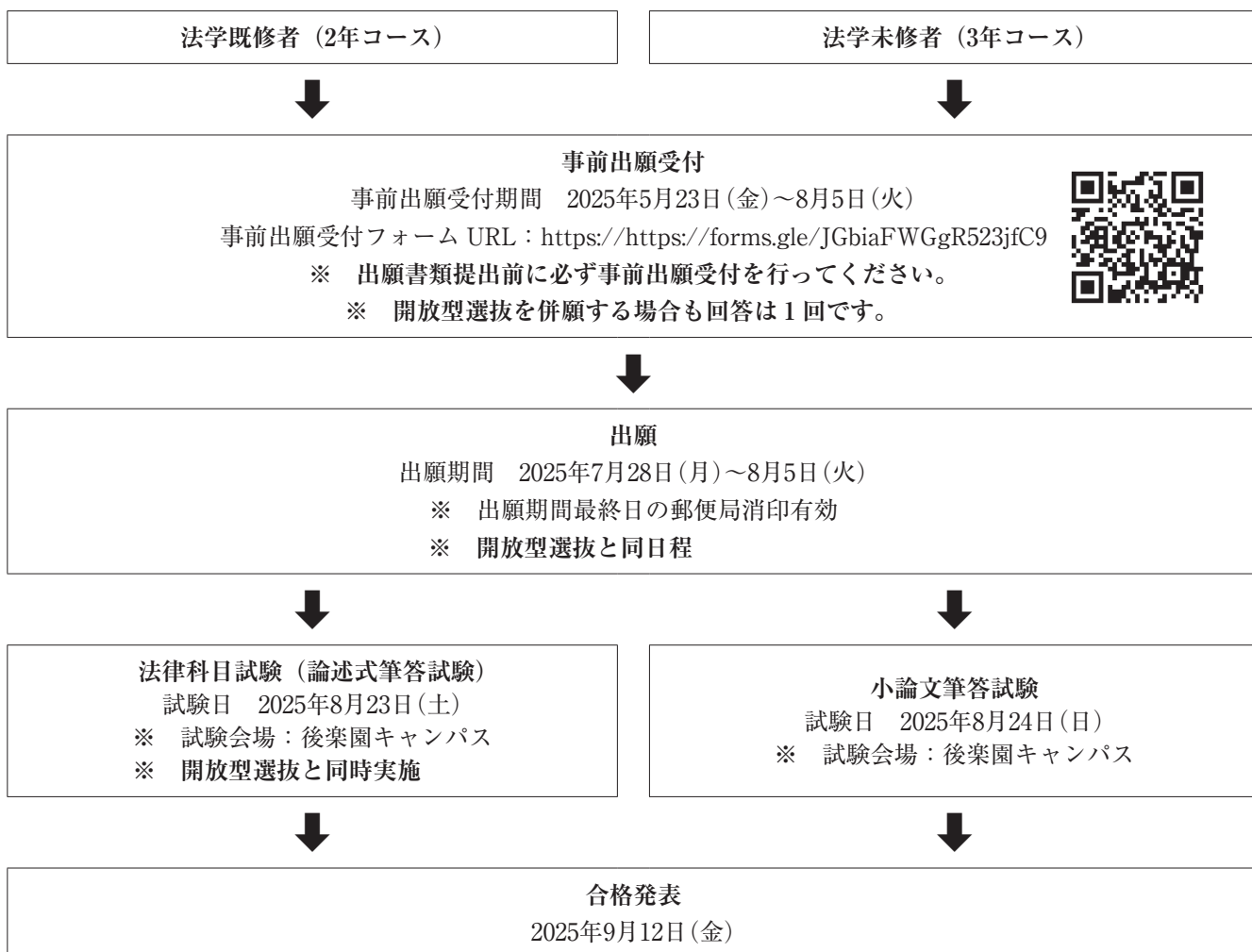
3-1 入学者選抜の日程と方法について<一般選抜>

1. 募集人員

コース	試験方式	募集人員
法学既修者（2年コース）	一般選抜	60名
法学未修者（3年コース）		40名

ここでいう法学既修者とは、本学法科大学院が2年次配当の授業科目を履修することができるだけの学力を有すると認める者をいいます。法学既修者は、本学法科大学院における1年次配当の所定の法律基本科目（必修）の履修が免除されます。

2. 入学者選抜の日程とプロセス



※ 入学手続の詳細については、p.25「3-5 合格発表と入学手続について<開放型選抜・一般選抜>」および合格者に送付する「入学手続要項」を参照してください。

3. 入学者選抜の方法

(1) 法学既修者コース

法律科目試験の成績および提出書類の内容を総合的に評価して可否を判定します。

法律科目試験

2025年8月23日（土）実施

時限	科目	集合時間	試験時間	配点		出題範囲
1	論述式試験①	10：00	10：30～13：00 (150分)	360点	憲法120点	憲法全般
					民法120点	民法全般
					刑法120点	刑法全般
2	論述式試験②	14：10	14：30～16：30 (120分)	240点	民事訴訟法80点	民事訴訟法全般
					刑事訴訟法80点	刑事訴訟法全般
					商法80点	会社法

※ 六法の持込みはできませんが、試験時に六法を配付します。

※ 法律科目試験は、入学者選抜であると同時に、1年次配当の所定の法律基本科目（必修）の履修を一括免除するための法学既修者判定試験であるため、1科目でも成績が極端に低い場合には、法学既修者との判定に至らず、不合格となる場合があります。

【民法の出題について】

これまでに改正された民法及び関連法のうち、試験実施時に施行されているものは、すべて出題範囲とします。

(2) 法学未修者コース

小論文筆答試験の成績および提出書類の内容を総合的に評価して可否を判定します。

小論文筆答試験

2025年8月24日（日）実施

時限	科目	集合時間	試験時間	配点	出題範囲
1	小論文	10：00	10：30～12：30 (120分)	100点	法学の知識を問わない

3-2 出願について＜一般選抜＞

1. 出願資格

2026年4月1日時点で以下の(1)～(9)のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者（早期卒業者を含む）
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本学法科大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者
- (7) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (9) 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本学法科大学院が認めた者

【注意事項】

注1 上記(9)の出願資格（いわゆる飛び入学）については、4年制大学を既に卒業した者および4年制大学に編入学した者以外の者で、次の1)または2)のいずれかに該当する場合に限り、出願を認めます。

- 1) 出願時に大学の学部3年次に在学する者で、優れた成績を修めていると本学法科大学院において認めた者。
なお、休学および停学の期間は在学期間に含めない。
- 2) 出願時に外国において大学の学部3年次に在学する者、または学校教育における15年の課程を2026年3月までに修了見込の者で、優れた成績を修めていると本学法科大学院において認めた者。
- 3) 上記1)または2)における「優れた成績」とは、次の(i)または(ii)の要件を満たす場合とする。
 - (i) 出願時において、75単位以上を修得しており、修得したすべての単位の成績の75%以上について、「優良な評価」（点数評価で100点満点中80点以上に相当する評価）を得ていること。
 - (ii) 出願時において、75単位以上を修得しており、そのうち50%以上を法律学の科目によって修得していること。修得した法律学の科目（単位）のうち、75%以上について、「優良な評価」（点数評価で100点満点中80点以上に相当する評価）を得ていること。

注2 上記(9)の出願資格で受験した者は、入学者選抜に合格した後、上記注1の3)の要件を満たさない場合には入学許可を取り消します。

注3 上記(6)または(9)の出願資格で出願予定の方は、2025年7月11日（金）までに法科大学院事務課まで問い合わせの上、その指示に従ってください。飛び入学と早期卒業との関係において、不明な点がある方も同様とします。

【お問い合わせ方法】 以下のフォームをご入力ください。内容を確認次第、法科大学院事務課よりご連絡いたします。

出願資格（6）：個別の資格審査

<https://forms.gle/EfVCWgB9mMCMYcVE9>

出願資格（9）：飛び入学

<https://forms.gle/QZNgyMiJtnhtRVYT7>



2. 事前出願受付について

※ 出願書類提出前に必ず事前出願受付を行ってください。

出願書類提出前に「開放型選抜・一般選抜 事前出願受付フォーム」に回答してください。回答後、回答内容が記載されたメールが届きますのでそちらを印刷のうえ、出願書類に同封してください（「3. 出願書類(1)必須提出書類」参照）。また、志願者調書作成時は本フォームで回答した内容と一致するようにしてください。

※ 開放型選抜と一般選抜を併願する場合、回答は1回のみで問題ありません。

※ 回答内容が記載されたメールが届かない場合、迷惑メールフォルダに送られている、もしくはフォームに入力したメールアドレスに誤りがある可能性があります。迷惑メールフォルダ及びメールアドレスをご確認のうえ、改めてフォームにご回答ください。

※ “～@g.chuo-u.ac.jp”からのメールを受信できるように設定してください。



事前出願受付フォームURL：<https://forms.gle/JGbiaFWGgR523jfC9>

3. 出願書類

次頁の出願書類について、p.15「3-3 出願書類の記入・提出方法について〈開放型選抜・一般選抜〉」に従って作成し、提出してください。出願書類については本学 Web サイトにてダウンロードのうえ、出力（A4・片面印刷）してください。所定フォーマットは、文書作成ソフト等を利用して、改変しないでください。

なお、同時期に実施する開放型選抜との併願を希望する場合、重複する出願書類は1通のみの提出で出願可能です（ただし、同一封筒に入れて郵送してください）。

(1) 必須提出書類

書類 番号	提出書類	コース	
		法学既修者コース	法学未修者コース
①	志望コース選択欄および誓約書（開放型選抜・一般選抜）	●	●
②	写真票（既修者）	●	—
③	写真票（未修者）	—	●
④	志願者調書（共通）1/4、2/4	●	●
⑤	志願者調書（既修者）3/4、4/4	●	—
⑥	志願者調書（未修者）3/4、4/4	—	●
⑦ ホ チ キ ス 留 め	提出証明書一覧（共通） （任意提出書類がある場合は一緒に留めてください）	●	●
	【出願資格（1）～（8）のみ必須】 大学の卒業（見込）証明書および成績証明書	○	○
	【出願資格（9）のみ必須】 大学の在学証明書および成績証明書	○	○
	「開放型選抜・一般選抜事前出願受付フォーム」の「回答内容が記載されたメール」を印刷したもの（p.3「2. 事前出願受付について」参照）	●	●
	【外国籍の方のみ必須】 在留カードまたは特別永住者証明書のコピー （出願時点で在留資格のない方はパスポートのコピー）	○	○
	【改姓・改名された方のみ必須】 戸籍抄本等のコピー（3か月以内に発行されたもの）（p.20（9）参照）	○	○
	【法科大学院に在籍履歴のある方のみ必須】 法科大学院に関する証明書（p.20（4）参照）	○	○
	開放型選抜を併願する方のみ	中央大学との法曹連携協定を	
		締結している大学の 法曹基礎課程に在籍の方	締結していない大学の 法曹基礎課程に在籍の方
	法曹基礎課程の修了（見込）証明書 （出願時において取得できる最新のもの）	●	●
	在籍する大学の法曹基礎課程のカリキュラム表	—	●
	中央大学が指定する科目（p.3注1参照）に相当する科目のうち、履修された年度の「民事訴訟法全般」「刑事訴訟法全般」「商法（会社法）」のシラバス（両面コピー可）※ 別途ホチキス留めしてください。	—	●
	履修証明書のコピー（秋学期以降を含む2025年度中に修得予定のすべての科目が分かる書類） ※ 在籍されている大学で履修証明書の発行がされていない場合は、お問い合わせフォームよりお問い合わせください。	—	●

●…必須提出書類 ○…条件により必須提出書類

書類番号は出願書類の番号に対応しています。

※ 書類番号①・④・⑦は法学既修者コースと法学未修者コースを併願する場合でも1通のみの提出で出願できます。

(2) 任意提出書類

以下の書類については、任意提出ですが、審査において考慮することがあります。なお、**志願者調書に記載した資格等については必ず証明書を添付してください**。証明書類が添付されていない場合は、調書の記載を無効とします。

- 各自が志望する法曹像に即した学修に役立つ資質や能力を証明する書類等（外国語能力証明書、国家資格試験合格証または資格を証明する書類等※ p.20参照）

(3) 注意事項

- ① 一般選抜においては、「推薦書」の提出は不要であり、一切審査の対象としません。
- ② 出願期間最終日である2025年8月5日（火）までに、出願書類に同封して提出した証明書を有効とし、出願後の追加提出等は一切受け付けません。
- ③ 一度提出した出願書類（任意提出のものを含む）は、返還しません。
- ④ コピーした証明書類を出願書類として提出した場合、後日原本の提示を求めることがあります。
- ⑤ 提出した書類に重要事項の不記載、虚偽記載、偽造または変造があることが判明した場合および提出すべき書類を提出しなかった場合は、合格または入学許可を取り消します。

4. 出願方法

- (1) 「提出書類冊子」の「出願用封筒ラベル（要カラー印刷）」を貼付した角2封筒（各自でご用意ください）に出願書類を封入してください。志望するコース、試験方式毎に必要な書類を番号順に並べて提出してください。
なお、開放型選抜や一般選抜内で複数のコースに併願される際は、必ず同一の封筒に入れて出願してください。
- (2) 出願書類は番号順に並べたうえで、一括して**必ず速達・簡易書留で郵送してください（出願期間最終日の郵便局消印有効）**。出願書類の窓口での受け付けは行いません。
- (3) 郵送時に郵便局から受領する「書留郵便物受領証」は、必ず保管してください。
- (4) 出願書類に不備がある場合は、出願を受け付けないことがあります。
- (5) 出願後の出願書類内容の変更は、一切認めません。

5. 併願

法学既修者コースと法学未修者コースの両方に出願することが可能です。ただし、それぞれのコース毎に出願手続（出願書類の提出等）を行うことが必要になります。

また、5年一貫型選抜、開放型選抜との併願も妨げません。

6. 入学検定料

- (1) 入学検定料は、1出願につき35,000円です。

例1 法学既修者コースに出願する場合：35,000円

例2 法学既修者コースと法学未修者コースに出願する場合：70,000円

なお、一般選抜の法学**既修者**コースを出願する者が、同一願書で**開放型選抜**に出願する場合、2出願以降の入学検定料を免除（入学検定料は35,000円）とします。

例1 開放型選抜と一般選抜（法学既修者コース）に出願する場合：35,000円

例2 開放型選抜と一般選抜（法学既修者コース）および一般選抜（法学未修者コース）に出願する場合：70,000円

例3 開放型選抜に出願後、別願書で一般選抜（法学既修者コース）に出願した場合：70,000円

※ 同一人が異なる願書で追加出願した場合、併願として取り扱うことはできません。「個別の出願」として取り扱います。

(2) 入学検定料の納入方法は、以下のとおりです。

① 納入期間は、**2025年7月28日（月）～8月5日（火）**です。

② 入学検定料は、コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの納入となります。詳細は、p.36「中央大学法科大学院コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料納入方法」を参照してください。コンビニエンスストアを利用する場合は、「ネット受付店頭支払いの場合」に従い、コンビニエンスストアで「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。クレジットカードを利用する場合は、「オンライン決済の場合」に従い、「入学検定料・選考料取扱明細書」を印刷してください。

③ 「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、志願者調書1/4の「入学検定料収納証明書貼付欄」に必ず貼付してください。

※ 法学既修者コースは「入学検定料収納証明書貼付欄（既修）」に、法学未修者コースは「入学検定料収納証明書貼付欄（未修）」に貼付してください。

※ クレジットカード決済でボタンの二度押しによる二重支払いが発生していますので、ご注意ください。

(3) 一度納入された入学検定料は原則として、返還しません。

※ 特定の事由により返還が認められる場合があります。

6. 受験票

(1) 受験票は、出願書類を受理し、確認を行った後に志願者調書の志願者基本情報の欄に記載の住所へ順次発送します。出願から受験票の到着まで時間を要するので、出願期間中なるべく早い時期に出願してください。

(2) **2025年8月18日（月）までに受験票が到着しない場合は**、法科大学院事務課まで問い合わせてください。

(3) 受験票には受験番号が印字されています。受験番号の詳細は、p.26「4 受験番号について」を確認してください。

(4) 筆答試験の当日は、受験票を持参してください。

(5) 試験の際、解答用紙等の受験番号欄には、先頭の1桁目を除く4桁の個別の番号を記入してください。

(6) 受験票の紛失、忘れまたは未着の場合、筆答試験当日については、仮受験票交付所（p.24下図参照）で「仮受験票」交付の手続きを受けてください。なお、筆答試験当日の仮受験票交付の手続きは試験開始1時間前より受付を開始します。

7. 受験および修学上特別な配慮を必要とする場合

身体の機能に障がいがあり、受験および修学において特別な配慮を必要とする方は、出願前（入学検定料を金融機関等から振り込む前）かつ**2025年7月11日（金）までに**法科大学院事務課に問い合わせてください。

また、病気や怪我のため、受験に支障をきたすおそれがある方については、直ちに連絡してください。

〈問い合わせ先〉 ロースクール（駿河台キャンパス 法科大学院事務課）
お問い合わせフォーム <https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=26>



3-3 出願書類の記入・提出方法について〈開放型選抜・一般選抜〉

出願書類の記入にあたっては、以下の事項および p.30「志願者調書記入例」を参照し、黒のペンまたはボールペン（色を消せるものを除く）を用いて正確に記入してください。訂正を行う場合は、必ず記入部分を二本線で取り消し、訂正印（認印）を押した上で、再度余白部分に記入してください。修正テープ（修正液）は一切使用しないでください。また、必ず A4片面で印刷してください。

1. 志望コース選択欄および誓約書（書類番号①）

- (1) 志望するコース・試験方式を正確にチェックしてください。また、5年一貫型選抜を受験した方は、チェックおよび受験番号欄を正確に記入してください。
- (2) 必ず本人が署名してください。

2. 写真票（書類番号②③）

- (1) 出願する選抜によって、様式が異なりますのでご注意ください。
開放型選抜、一般選抜（法学既修者コース）志願者 → 「写真票（既修者）」
一般選抜（法学未修者コース）志願者 → 「写真票（未修者）」
- (2) 写真を1枚貼付し、氏名欄・フリガナ欄をもれなく記入してください（※印欄は記入しないこと）。
「写真票」および「志願者調書」の写真については、同一の写真をそれぞれ貼付してください。
なお、縦4cm×横3cmの大きさで、出願時を基準として3ヶ月以内に撮影した上半身無帽正面の写真（背景のないもので、カラーのもののみ可）を使用してください。受験時に眼鏡をかける場合は、眼鏡をかけて撮影してください。スナップ写真、加工した写真および不鮮明なもの（カラーコピーで普通紙に出力した写真等）は受理できません。写真票の写真は試験当日の本人照合に使用し、入学後の学生証にも使用しますので、**枠外にはみ出さないようにしてください。**

3. 志願者調書（書類番号④⑤⑥）

出願する選抜によって、様式が異なりますのでご注意ください。

- (1) 開放型選抜・一般選抜（法学既修者コース）志願者 → 志願者調書（共通）1/4・2/4、志願者調書（既修者）3/4・4/4
- (2) 一般選抜（法学未修者コース）志願者 → 志願者調書（共通）1/4・2/4、志願者調書（未修者）3/4・4/4
(1)と(2)の両方に出席する場合、志願者調書（共通）1/4・2/4は1通のみの提出で出席可能です（(1)用に1通、(2)用に1通の計2通作成する必要はありません）。

1. 志願者基本情報【必須】

メールアドレス	事前出願受付フォームで入力したアドレスと同一のアドレスを記入してください。
事前出願受付フォーム 受付番号	事前出願受付フォーム回答時の返信メールに記載された受付番号を記入してください。
社会における実務等の 経験の有無	本学法科大学院における「社会における実務等の経験」の定義について ●大学（学部）卒業後、2026年4月1日時点で少なくとも3年以上（合計でも可）の経験があること。複数の大学を卒業した場合は最初の大学の卒業時を基準時とする。 ●主として公務員試験や各種資格試験の受験勉強をしていた期間は除く。 ●「社会における実務等の経験」は、必ずしも就業経験であることを要しない。例えば、主婦・主夫、ボランティア、非正規雇用などでもよい。 上述の定義に基づき、社会における実務等の経験が3年以上ある場合は「1」、3年以上の経験がない場合は「2」を記入してください。

2. 出身大学【必須】

- ①～⑤は、最終の卒業大学または卒業見込大学について記入してください。
- ③～⑤は、pp.31-35「記入コード一覧」の該当するコードを記入してください。

⑥法学以外の課程履修の有無	●法学以外の課程（法学部でも政治学科等は法学以外に該当する）を主として履修した場合は「1」を記入してください。 ●法学部等で法律系の課程を主として履修した場合は「2」を記入してください。 ※ 最終出身学部以外の4年制学部課程、学士編入した場合の編入前学部課程を含む。 ※ 専門課程以外に履修した教職等資格課程科目や、いわゆる一般教養科目は法学以外の課程には相当しない。 ※ 4年未満の課程や中退した課程は除く。
⑦本学出身の有無	●本学学部（通信教育課程を含む）卒業（見込）者は「1」 ●他大学出身者、本学科目等履修生等の正課生以外は「2」 ※「1」を記入した場合で、①に記入した最終の出身大学が本学以外の場合は、本学の卒業証明書も提出してください。 ※ 本欄を正しく記入していない場合、または卒業証明書の提出がない場合は、本学を卒業していても入学手続時に入学金の全額納入を求めることになります（p.27「1.学費」注3を参照）。
⑧法科大学院在籍履歴の有無	●法科大学院に在籍中の場合は「1」 ●法科大学院を修了している場合は「2」 ●法科大学院在籍履歴のない場合は「3」 ●法科大学院に在籍したことはあるが中途退学している場合は「4」
⑨法曹基礎課程の在籍有無、4年次のみ別途実施する認定試験※の受験希望有無 ※ 試験についてはp.6「3.入学資格」参照	●問①法曹基礎課程を修了または修了見込ですか。 「はい」＝問②へ 「いいえ」＝「4」（一般選抜のみ受験）を記入 ●問②学部4年次ですか。 「はい」＝問③へ 「いいえ」＝「1」（学部3年次で法曹基礎課程修了見込み） ●問③認定試験を同時受験しますか。 「はい」＝「2」を記入（推奨） 「いいえ」＝「3」を記入 ※「別途実施する認定試験を課す場合があります。」

3. 学歴【必須】

大学入学以降のすべての学歴を記入してください。卒業見込または修了見込、退学・転部・編入学等についても記入してください。

入学検定料収納証明書貼付欄【必須】

入学検定料納入後、「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、開放型選抜・一般選抜（法学既修者コース）出願者は「入学検定料収納証明書貼付欄（既修）」欄に、一般選抜（法学未修者コース）出願者は「入学検定料収納証明書貼付欄（未修）」欄に貼付してください。

4. 職歴および社会における実務等の経験【該当者のみ必須】

勤務先等の名称と担当業務内容（××会社〇〇課△△担当等）や社会経験の内容を記入してください。職歴・実務経験が多岐にわたる場合は、志願者が自らをアピールする上で最適であると判断したものについて記入し、部署の変更等は1つにまとめるなどして、簡潔に記入してください。

5. 学部成績

①修得単位数および「優良な評価」取得単位数【必須】	●大学在籍中に修得した単位数合計および、「優良な評価」を取得した単位数合計を記入してください。(注) ●「優良な評価」とは、100点満点中80点以上に相当する評価をいいます（次頁例参照）。点数化されていない場合は最も高い評価をいいます。 なお、評価が点数化されているものの、成績証明書には、評価と点数の関係性について記載がない場合は、評価と点数の関係性が記載されている書類（自身が入学した年の履修要項の該当ページや出身校が発行している資料等、コピー可）を添付してください。 ●成績証明書に記載されたすべての単位数（在学中の場合は修得済みの分まで）で計算してください。ただし、合否のみで判定される科目や短大等から大学へ編入した場合の認定科目は計算式に含めないでください。 ●複数の大学を卒業した場合は、「2. 出身大学」に記載した最終の出身大学のみについて記入してください。 ●医学部、歯学部など単位制をとっていないため、単位数が計算できない場合は、科目数で記入してください。 「優良な評価」例 1 <table border="1" data-bbox="673 786 879 920"> <tr><td>100～90点</td><td>S</td></tr> <tr><td>89～80点</td><td>A</td></tr> <tr><td>79～70点</td><td>B</td></tr> <tr><td>69～60点</td><td>C</td></tr> </table> 四段階評価（優・良上・良・可、秀・優・良・可、S・A・B・C、A+・A・B・C など）の場合、左記の例では100～80点の「S」と「A」が「優良な評価」となります。 「優良な評価」例 2 <table border="1" data-bbox="673 943 879 1043"> <tr><td>100～80点</td><td>A</td></tr> <tr><td>79～70点</td><td>B</td></tr> <tr><td>69～60点</td><td>C</td></tr> </table> 三段階評価（優・良・可、A・B・C など）の場合、左記の例では100～80点の「A」が「優良な評価」となります。 「優良な評価」例 3 <table border="1" data-bbox="673 1066 879 1167"> <tr><td>評価が点数化されていない場合</td><td>A</td></tr> <tr><td></td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td>C</td></tr> </table> 評価が点数化されていない場合、最も高い評価を「優良な評価」とします。左記の例では「A」が「優良な評価」となります。 (注) 出願時点で学部3年次の方は、大学2年次終了時までには修得した単位数の合計および「優良な評価」を取得した単位数の合計を記入してください。	100～90点	S	89～80点	A	79～70点	B	69～60点	C	100～80点	A	79～70点	B	69～60点	C	評価が点数化されていない場合	A		B		C
100～90点	S																				
89～80点	A																				
79～70点	B																				
69～60点	C																				
100～80点	A																				
79～70点	B																				
69～60点	C																				
評価が点数化されていない場合	A																				
	B																				
	C																				
②GPA (グレード・ポイント・アベレージ)【任意】	●大学学部在学期間の通算 GPA（全科目）を算出している大学の場合は、ポイント（点数）を記入してください。 ● GPA が成績証明書に記載されていない場合は、記入しないでください。 ● GPA を記入した場合は、その算出方法が記載されている書類（出身校が発行しているもの等、コピー可）を添付してください。																				

6. 任意提出資料

この欄を記入する場合は、該当する資格の証明書または合格書等を添付してください。資料が添付されていない資格はすべて無効となります。資料の提出について、詳しくは p.19「4. 提出証明書類」を参照してください。

外国語能力については、以下に掲げるものに限り受け付けます。

① 英語

2023年4月1日以降に受験したものに限り有効とします。

試験名称	注意事項
TOEFL	団体受験（TOEFL-ITP）のスコアの提出は不可
TOEIC	団体受験（TOEIC-IP）のスコアの提出は不可
IELTS	団体受験（IELTS）のスコア提出は不可

※ 実用英語技能検定（英検）の受け付けはしません。

② 英語以外の外国語

英語以外の外国語能力試験の証明書類については、2023年4月1日以降に受験したものに限り有効とします。
p.35「英語以外の外国語能力コード」を参照し、コードを記入してください。

言語	試験の種類	級・点等ランク
ドイツ語	ゲーテ・ドイツ語検定試験（ゲーテ・インスティトゥート）	C1以上
	ドイツ語技能検定試験（公益財団法人ドイツ語学文学振興会）	準1級以上
	TestDaF（テストダフ・インスティトゥート）	全分野で TDN4以上
フランス語	DELF/DALF（日本フランス語試験管理センター）	DELF B2以上
	実用フランス語技能検定試験 （公益財団法人フランス語教育振興協会）	準1級以上
	フランス国民教育省認定フランス語能力テスト（TCF） （日本フランス語試験管理センター）	レベル4（400点）以上
韓国・ 朝鮮語	韓国語能力試験（公益財団法人韓国教育財団）	4級以上
	ハングル能力検定試験（特定非営利活動法人ハングル能力検定協会）	2級以上
中国語	中国漢語水平考試（HSK） （中国国家 HSK 委員会・HSK 日本実施委員会）	5級以上
	中国語検定試験（一般財団法人日本中国語検定協会）	2級以上
	中国語コミュニケーション能力検定（TECC） （中国語コミュニケーション協会）	C 以上
スペイン語	スペイン語検定（DELE）（インスティテュート・セルバンデス東京）	B2以上
	スペイン語技能検定（公益財団法人日本スペイン協会）	3級以上

③ 国家資格試験

国が認定する資格を取得している場合は、p.35「資格コード」を参照し、合格（取得）年月とコードを記入（3つまで）してください。コード表に該当する資格がない場合は、その他の資格「D99」として記入してください。公務員の方は「B01」を選択して合格した試験名または職種を記入してください。

④ 国家資格試験以外の公的な資格

上記③以外の公的な資格を取得している場合は、p.35「資格コード」を参照し、合格（取得）年月とコードを記入（3つまで）してください。コード表に該当する資格がない場合は、その他の資格「D99」として記入してください。

※ 出願期間より以前に受験した資格試験であっても、証明書の発行が出願期間を過ぎるものについては、無効となります。

※ ③、④について該当する資格が複数ある場合は、その他の資格「D99」以外の資格を優先して記入してください。

アンケート回答欄

p.29「6 アンケートについて」の回答を、志願者調書の回答欄に記入してください。

緊急連絡先【必須】

入学者選抜に関する事項について、本人に連絡が取れない時に連絡可能な志願者本人以外の緊急連絡先（日本国内の親族・友人等）を記入してください。

7. 法曹を志望する理由および目指す法曹像の記載欄【必須】

法曹を志望する動機、資質・能力に関する自己評価、大学や社会における活動実績等とともに、志望する法曹像を自由に記入してください。「志願書調書」の pdf ファイルを印刷し、直接記入するか、別に記入した用紙を貼付してください。別に記入した用紙を貼付する場合は、記載欄枠内に納まるように印刷したものを全面のり付けし（折り曲げ厳禁）、貼付してください（横書き・制限枚数厳守）。PC 等を使用する場合は、文字の大きさは10.5ポイント以上

で記述してください。

8. 特記すべき事項

志望理由等の記入にあたり、その内容の裏付けとなる自己に関する特記事項がある場合は、「①活動歴、奨学金の受給、受賞等」および「②活動内容の補足等」のそれぞれの欄に記入してください。

①活動歴、奨学金の受給、受賞等	あなたの学歴、職歴、活動歴または受賞、奨学金の受給等で、特記すべき内容を新しい順に列記してください。 ※ 記載にあたっては、学部、学科、研究科、部署、職位、職種またはボランティア活動等の内容をできる限り明記してください。 ※ 特記すべき活動歴が前記の「学歴」、「職歴および社会における実務等の経験」欄の内容に含まれる、または重複する場合も本欄に必ず記載してください。 ※ 説明を裏付ける資料を提出する場合には、その資料との関連を明記し、提出証明資料の「【任意】その他の証明書等」として提出してください。
②活動内容の補足等	①の活動歴等に関連して、補足してPRすべき事項がある場合は、簡潔に説明してください。 ※ 説明を裏付ける資料を提出する場合には、その資料との関連を明記し、提出証明資料の「【任意】その他の証明書等」として提出してください。

4. 提出証明書類（書類番号⑦）

提出する証明書は、「提出証明書類一覧」に明細を記入の上、資料番号順にまとめてホチキス留め（左上1ヶ所）して提出してください。枚数が多く、ホチキス留めができない場合は、クリップ留めとしてください。

(1) 【必須】卒業・修了（見込）証明書、成績証明書

- ① 出願時において取得できる最新のものを提出してください。
- ② これらの証明書は、原則として原本（出身校が発行し、証明した文書）を提出してください。やむを得ない事由により原本を提出できない場合は、証明書の発行機関の代表者による原本証明（「原本と相違ないことを証明する」の表記、証明年月日、証明者名、捺印があるもの）を必ず受けてください。
- ③ これらの証明書は、日本語または英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、日本語または英語による訳文を付けてください。訳文は大使館等の公的機関で認証を受けてから提出してください。なお、認証を受けた訳文原本を提出できない場合は、訳文原本のコピーを提出してください。ただし、後日訳文原本の確認を求めることがあります。
- ④ 海外の大学の証明書の取寄せには時間がかかる場合がありますので注意してください。
- ⑤ これらの証明書を厳封する必要はありません。

● 開放型選抜および一般選抜の出願資格（1）～（8）で出願する方

- 1通の証明書により、卒業（見込）および成績の両方を証明する場合、証明書は1通で構いません。
- 書類表題に「卒業（見込）証明書」、「成績証明書」と記載されている証明書を提出してください。
- 教養課程・専門課程等、学部課程が途中で分かれている場合は、卒業証明書は最終課程の分のみで結構ですが、成績に関する証明書は全課程分を提出してください。
- 法科大学院以外の大学院在学中または修了の場合は、学部の卒業証明書および成績証明書を必ず提出してください。大学院に関する証明書は任意提出書類として扱います。
- 編入学した場合は、編入前の学校の卒業・成績証明書もあわせて提出してください。なお、退学した学校の退学証明書は不要です。
- 大学改革支援・学位授与機構で学士号取得（見込）の場合は、学位授与証明書または学位授与申請受理証明書を提出してください。

● 一般選抜の出願資格（9）で出願する方

- 「大学の卒業・修了（見込）証明書および成績証明書」に代えて、「大学の在学証明書、（2年次終了までの）成績証明書および今年度の履修証明書（出願時において、75単位以上を修得していることがわかる内容の証

明書)」を提出してください。

- 教養課程・専門課程等、学部課程が途中で分かれている場合は、成績に関する証明書は全課程分を提出してください。

(2) 【開放型選抜は**必須**】法曹基礎課程の修了（見込）証明書

- ① 出願時において取得できる最新のものを提出してください。
- ② これらの証明書は、原則として原本（出身校が発行し、証明した文書）を提出してください。やむを得ない事由により原本を提出できない場合は、証明書の発行機関の代表者による原本証明（「原本と相違ないことを証明する」の表記、証明年月日、証明者名、捺印があるもの）を必ず受けてください。
- ③ これらの証明書を厳封する必要はありません。

(3) 【開放型選抜で中央大学と法曹養成連携協定を締結している大学以外の法曹基礎課程に在籍する場合は**必須**】

- 在籍する大学の法曹基礎課程のカリキュラム表
- 中央大学が指定する科目（p.3注1参照）に相当する科目のうち、履修された年度の「民事訴訟法全般」「刑事訴訟法全般」「商法（会社法）」のシラバス（両面コピー可）
- 履修証明書のコピー（秋学期以降を含む2025年度中に修得予定のすべての科目が分かる書類）

(4) 【法科大学院に在籍履歴のある方のみ】法科大学院に関する証明書

- ① 法科大学院に在籍した履歴のある場合は、出願時において取得できる最新の在学証明書または退学証明書を必ず提出してください。
- ② 法科大学院を修了した履歴のある場合は、出願時において取得できる最新の修了証明書を必ず提出してください。
- ③ 原則として原本（出身校が発行し、証明した文書）を提出してください。やむを得ない事由により原本を提出できない場合は、証明書の発行機関の代表者による原本証明（「原本と相違ないことを証明する」の表記、証明年月日、証明者名、捺印があるもの）を必ず受けてください。
- ④ 証明書を厳封する必要はありません。

(5) 【任意】外国語能力証明書のコピー

受け付けする内容については pp.17-18を参照してください。

(6) 【任意】国家資格試験の合格またはその資格を有することを証明する書類のコピー

国家資格試験に合格またはその資格を有することを証明する書類を提出してください（証明する書類の提出がない場合には、資格はすべて無効になります）。

(7) 【任意】国家資格試験以外の公的な資格のコピー

上記（5）以外の公的な資格試験の合格またはその資格を有することを証明する書類を提出してください（証明する書類の提出がない場合には、資格はすべて無効になります）。

(8) 【外国籍の方のみ】在留カードまたは特別永住者証明書のコピー（一般選抜に出願する方で、出願時点で在留資格のない方はパスポートのコピー）

氏名、生年月日、写真、発行機関、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分のコピーを提出してください。

(9) 【改姓・改名された方のみ】戸籍抄本等のコピー

改姓、改名のため、志願者調査と証明書等に記載されている氏名が異なる場合は、出願時を基準として3ヶ月以内に発行された戸籍抄本等のコピーを提出してください。

(10) 【任意】その他の証明書等

- ① コピーは A4サイズに統一してください。
- ② 修士・博士論文や著書等の概要は、PC 等を使用し、A4用紙で2,000字以内にまとめてください。
- ③ 証明書は、日本語または英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、日本語または英語による訳文を付けてください。

出願期間が証明書発行機関の休暇期間に重なることもあるので、証明書は早めに入手してください。

よくある質問

出願書類について

Q1.	出願にあたって卒業見込証明書の提出が必須ですが、在籍している大学では出願期間までに卒業見込証明書が発行できないため、どうすればよいのでしょうか。
A1.	出願期間までにご在籍の大学で卒業見込証明書が発行されない場合は、本法科大学院ホームページ上の「お問い合わせフォーム」にてご連絡ください。
Q2.	志願者調書（4/4）の書き方について、「7. 法曹を志望する理由および目指す法曹像の記載欄」は pdf に直接パソコンで文字を打ち込んで提出することは可能でしょうか。それとも、パソコンを使用する際は、一度 Word などに入力し、それを印刷して貼付する方がよいのでしょうか。
A2.	志望者調書（4/4）について、pdf に直接入力しますとフォーマットが崩れる可能性がありますので、パソコンで作成する場合は Word 等で作成・印刷したものを記載枠内に全面に糊付けし（折り曲げ厳禁）、貼り付けてください（横書き・制限枚数厳守）。また、文字の大きさは10.5ポイント以上で入力してください。
Q3.	成績証明書について、在学している大学では、教養学部と専門学部（法学部）の2種類の成績証明書を発行しますが、専門学部（法学部）の成績証明書のみ提出すればよいでしょうか。
A3.	成績証明書について、教養学部と専門学部のように分かれている場合、両学部分をご提出ください。その他に、前期課程、後期課程と別れている場合も、それぞれご準備ください。
Q4.	入学者選抜要項に、合否のみで判定される科目は計算式に含めないようにとの記載がありますが、優良な評価の単位についてのみを指すのでしょうか。それとも、修得した単位数の合計にも含めなくてもよいということでしょうか。
A4.	合否のみで判定される科目は、すべて計算式に含めないようにしてください。
Q5.	出願期間後しばらく帰省するため、受験票などを受け取れない可能性があります。その旨を書いた文書を出願書類に添付した方がいいますか。
A5.	受験票送付から入学手続き書類まで今後出願書類に記載された住所に送付するため、帰省先の住所か現住所かどちらかに決めて出願書類および封筒に記入してください。

開放型選抜の出願書類について

Q6.	法曹基礎課程修了見込証明書、または修了証明書（出願時において取得できる最新のもの）について、在籍している大学では卒業見込証明書および成績証明書発行の取り扱いはあるものの、カリキュラムとして「法曹基礎課程」という制度がありません。卒業見込証明書自体には「法曹コース」出身である旨が明記されますが、法曹基礎課程に相当すると考えられる科目を履修した証明書として、卒業見込証明書および成績証明書の提出に代えることは可能ですか。
A6.	開放型選抜の出願資格は、法曹基礎課程が設置された大学の該当コースに3年次生以上に在籍している必要があります。出願前に、ご在籍の大学での「法曹コース」が法曹基礎課程に該当するか確認してください。
Q7.	中央大学と法曹養成連携協定を締結していない大学の法曹基礎課程に在籍しているため、「民事訴訟法全般」「刑事訴訟法全般」「商法（会社法）」のシラバスを提出する必要がありますが、履修した年度のものを提出するという理解でよいでしょうか。
A7.	講義要項（シラバス）は、年度や担当教員により内容が変更になっている可能性がありますので、必ずご自身が履修した年度・担当教員のシラバスを提出ください。 過去のシラバス等の取得方法については、ご在籍の学部事務室等へお問い合わせください。

Q8. 中央大学と法曹養成連携協定を締結していない大学の法曹基礎課程に在籍しているため、「在籍する大学の法曹基礎課程のカリキュラム表」の提出が必要ですが、具体的にどのような内容が求められているのでしょうか。

A8. 「在籍する大学の法曹基礎課程のカリキュラム表」については、ご在籍の法曹基礎課程においてどのような科目を履修し、何単位で修了できるかを確認するために必要です。
そのため、具体的には、修了要件単位および選択必須科目の一覧をご提出ください。

Q9. 中央大学と法曹養成連携協定を締結していない大学に在籍しているため、履修証明書のコピーの提出が必要ですが、在籍している大学では、履修証明書を発行していないため、履修証明書のコピーを提出できません（在籍している大学では履修証明書の発行は出願期間以降になるため、出願期間以降に提出可能でしょうか）。

A9. 出願期間までに履修証明書が発行されない場合、またはご在籍の大学では履修証明書の発行がない場合は、本法科大学院ホームページ上の「お問い合わせフォーム」にてご連絡ください。
<https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/from/?id=26>



Q10. 開放型選抜の出願書類のうち、中央大学と法曹養成連携協定を締結している大学以外の法曹基礎課程在籍者は履修証明書のコピーを提出する必要がありますが、現在4年生で既に法曹コースを修了している場合でも、この書類は必要なのでしょうか。

A10. 必要です。出願時に履修証明書のコピー（秋学期以降を含む2025年度中に修得予定のすべての科目がわかる書類）をご提出ください。履修証明書のコピーを提出できない場合は、本法科大学院のホームページにある「お問い合わせフォーム」にてご連絡ください。

Q11. 開放型選抜に出願する際、中央大学と法曹養成連携協定を締結している大学以外の法曹基礎課程に在籍しています。中央大学が指定する科目に相当する科目のうち、「民事訴訟法全般」「刑事訴訟法全般」「商法（会社法）」のシラバスの提出が必要ですが、例えば「民事訴訟法Ⅰ」の他に「応用民事訴訟法Ⅰ」も単位修得済みのため、「応用民事訴訟法Ⅰ」も提出する必要がありますか。

A11. はい。中央大学と法曹養成連携協定を締結していない法曹基礎課程に在籍の方には、法律基本科目の範囲の充足を確認するために、「民事訴訟法全般」「刑事訴訟法全般」「商法（会社法）」の履修年度のシラバスを提出していただきます。提出するシラバスの範囲は各科目全般です。したがって、ご質問の「応用民事訴訟法Ⅰ」も「民事訴訟法」の範囲に含まれますのでご提出ください。

3-4 筆答試験について＜開放型選抜・一般選抜＞

1. 受験上の注意

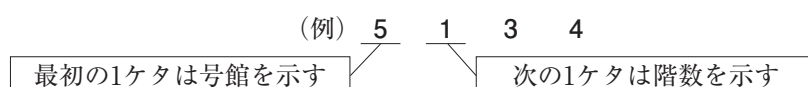
- (1) 筆答試験会場は、中央大学後楽園キャンパスです。
- (2) 筆答試験の当日は、受験票を必ず持参してください。
- (3) 試験開始時刻の30分前までに試験場に集合し、着席してください。開場時間は8時45分です。
- (4) 使用筆記用具

使用筆記用具	記入項目	氏名欄	受験番号	解答欄
黒のペンまたはボールペン		○	○	○
HBの黒鉛筆またはシャープペンシル		×	×	○

- (5) 机の上に置けるものは、「受験票」、「黒のペンまたはボールペン（色を消せるものを除く）」、「HBの黒鉛筆またはシャープペンシル」、「ラインマーカーまたは色鉛筆」、「プラスチック製消しゴム」、「時計（時計機能だけのもの）」、「眼鏡」です。また、「フェイスシールド（シールド部分が無色透明のものに限る）」、「ビニール手袋（無色透明で音が出ないものに限る）」、「消毒用アルコールウェットティッシュ、アルコール消毒液」の着用・使用を認めます。
 ※ 空間除菌グッズは持ち込みも使用も禁止します。
 ※ 不正行為防止のため、机上の物品を確認させていただくことがあります。
 その他の所持品は、カバン等の中にしまってください。
- (6) 問題検討のためのラインマーカーおよび色鉛筆の使用は、問題用紙への記入に限り許可します。解答用紙には使用できません。
- (7) 携帯電話等の通信機器は、試験場内では一切使用できません。試験場内では必ず電源を切ってカバン等に入れておいてください。また、時計としても使用できません。
- (8) 試験中の飲食は禁止しておりますが、水分補給のため、蓋付きのペットボトルに入った飲料はラベルは外したうえで持ち込んで飲むことができます（ペットボトル以外の物（水筒等）は認めません）。その際、机上に容器を置かず、必ず蓋を閉めて足元に置き、机上にこぼしたり、水滴によって答案用紙を汚損しないよう十分に注意してください。
- (9) 原則として試験中の途中退室は認められません。この他、監督者の指示に従えない場合は、受験資格を剥奪することがあります。
- (10) 昼食は各自用意してください。また、可能な限り自席で、他の受験生との距離を保って食事を取るようにして、複数人で向かい合っでの食事は避けてください。
 2025年8月23日（土）、24日（日）については、後楽園キャンパス内の食堂は休業の予定となっています。
- (11) 試験場周辺の路上での電報やアンケートなどの勧誘行為は、本学とは関係ないため十分に注意してください。
- (12) 試験中は、原則として受験生以外は試験会場内に入れません。

2. 試験場

試験場は後楽園キャンパス5号館、6号館です。試験場は、試験当日に掲示にてお知らせいたします。
 なお、教室番号の見方は、下記のとおりです。

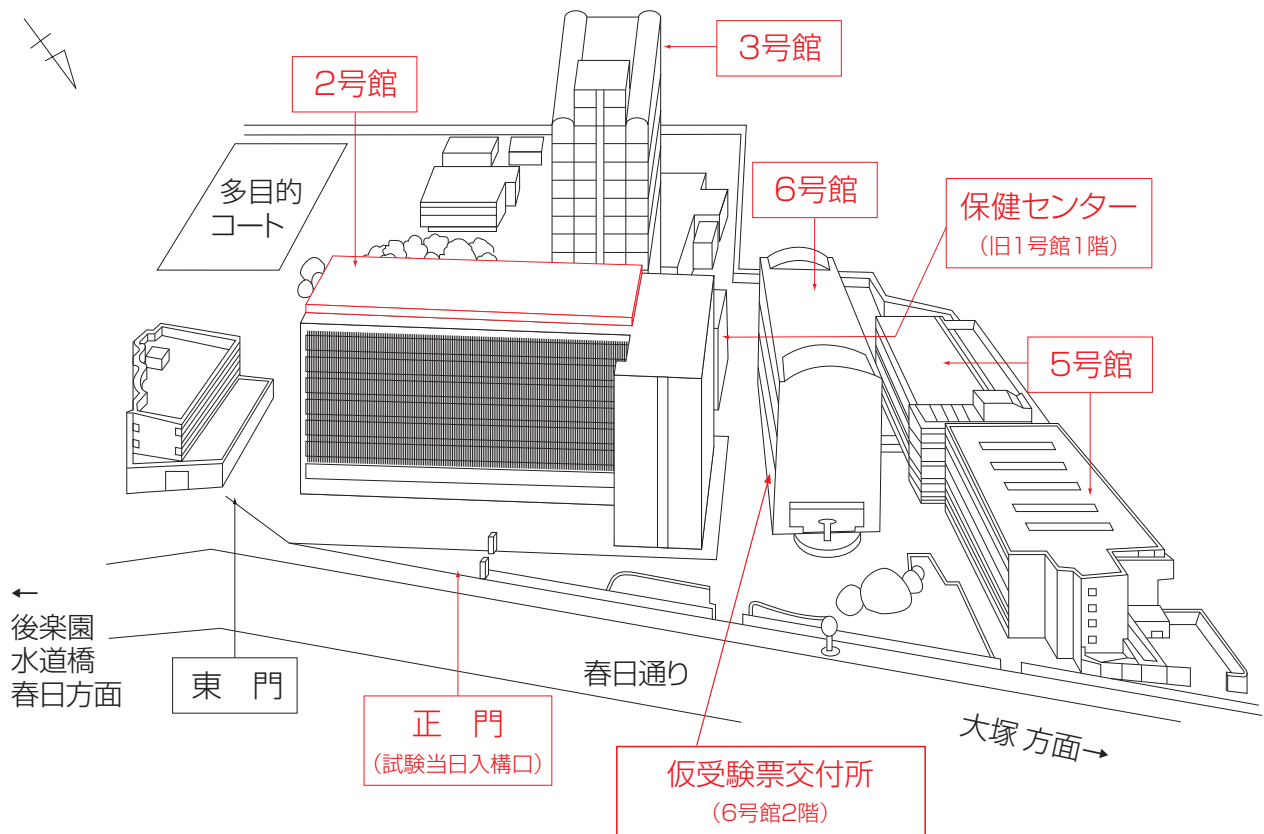
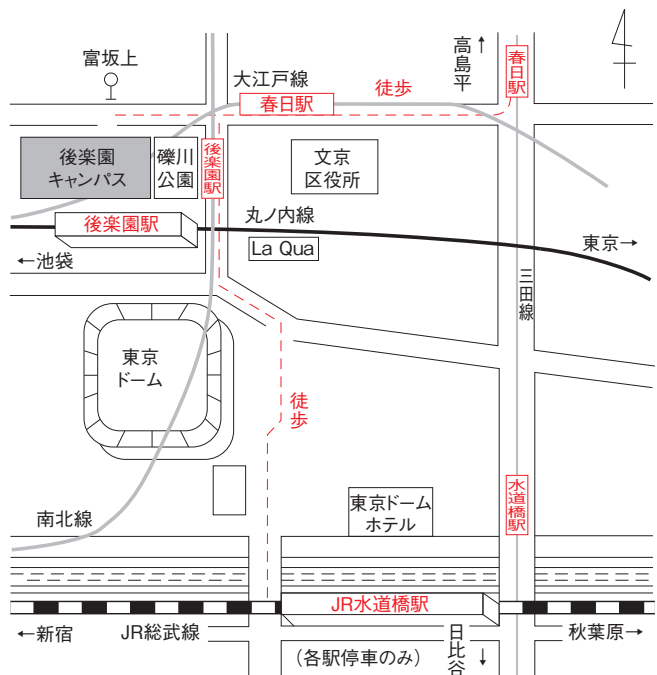


3. 後樂園キャンパス案内図

【筆答試験 2025年8月23日(土)、24日(日)実施】

〈交通案内〉

- ① 東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園駅」から
徒歩約5分
- ② 都営三田線・大江戸線「春日駅」から
徒歩約6分
- ③ JR 中央・総武線「水道橋駅」から
徒歩約12分



3-5 合格発表と入学手続について＜開放型選抜・一般選抜＞

1. 合格発表

正式な合格発表は郵便による通知とします。また、補助的な手段として Web サイト上での合否照会が可能です。
p.37「中央大学法科大学院合否速報サイトの操作方法」を参照してください。

※ 不合格者への郵便による通知は行いません。

(1) 合格発表

- Web サイト上での合否照会期間は、2025年9月12日（金）10時～9月24日（水）22時です。
- 合格者には合格発表当日に合格書と入学手続書類を速達・簡易書留で、**志願者調書の志願者基本情報の欄に記載の住所**に郵送します。
- 合格確認後、合格の通知が合格発表日から3日を経過しても到着しない場合は、法科大学院事務課に問い合わせてください。入学手続書類の不着または遅着を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

(2) その他

- ① 電話等による合否の問い合わせや試験結果に関する問い合わせは誤認・誤解等を生じやすいので一切受け付けません。
- ② 追加合格候補者には、合格発表当日に「追加合格候補に関するお知らせ」を速達・簡易書留で郵送します。
- ③ 追加合格者を発表する場合（入学手続状況により欠員が生じたとき）は、入学申込手続（A 手続）締切日の後に、該当者にのみ合格書と入学手続書類を速達・簡易書留で郵送します。

2. 入学手続

(1) 入学手続は、合格者に送付する「入学手続要項」に従い、行ってください。

(2) 入学手続は、2回に分けて行います。

手続（納入）期限		備 考
入学申込手続 （A 手続）	法学既修者・法学未修者 2025年9月24日（水）	入学金相当額の入学申込手続金を期日までに納めてください。この入学申込手続金は、入学完了手続を完了した場合は、入学金に充当します。
入学完了手続 （B 手続）	法学既修者・法学未修者 2025年12月2日（火）	入学申込手続金を除く2026年度前期学費（在学科・施設設備費）を期日までに納めてください。

(3) p.10「1. 出願資格」の（9）（いわゆる飛び入学）で受験し、合格した方は以下の事項にも注意して入学手続等を行ってください。

- ① 入学者選抜に合格した後、次のいずれかの要件を満たす必要があります。要件を満たさない場合には入学許可を取り消します。
 - (i) 出願時において、75単位以上を修得しており、修得したすべての単位の成績の75%以上について、「優良な評価」（点数評価で100点満点中80点以上に相当する評価）を得ていること。
 - (ii) 出願時において、75単位以上を修得しており、そのうち50%以上を法律学の科目によって修得していること。また、修得した法律学の科目（単位）のうち、75%以上について「優良な評価」（点数評価で100点満点中80点以上に相当する評価）を得ていること。
- ② いわゆる飛び入学者は、本学法科大学院に合格し入学する場合には、本学法科大学院入学までに在学する大学等を退学し、学位を取得せずに入学することになります。
 - 2025年度の修得単位を含む成績証明書を2026年3月23日（月）までに提出してください。
 - 入学許可確認後、本学法科大学院に入学するために、在籍している大学を退学し、退学したことがわかる証明書を入学式までに提出してください。なお、退学する際には、2025年度の履修科目が無効にならないよう在籍する大学に相談してください。
- ③ 本学法科大学院に入学後1年以上経過し、所定の単位数及び要件を満たした場合、大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査を受け合格することにより「学士」の学位を取得することが可能です。詳細は、大学改革支援・学位授与機構の Web サイト（<http://www.niad.ac.jp/>）にて確認してください。

3. 入学者選抜試験の成績開示について

入学者選抜試験の終了後、希望者（受験者本人に限る）を対象として入学者選抜試験の筆答試験の成績を開示します。受付期間等の詳細は、後日、公式 Web サイトにて発表します。

なお、成績開示の際は受験票が必要となりますので、受験票は大切に保管するようにしてください。

4 受験番号について

1. 受験番号は5桁で、出願内容によって以下のように付番されます。

		法学既修者コース	法学未修者コース
開放型選抜のみ出願		90501 ~ 92000	
開放型選抜・一般選抜の両方に出願	開放型選抜	92001 ~ 94000	
	一般選抜	12001 ~ 14000	
一般選抜のみ出願		14001 ~ 14999	25001 ~ 25999

2. 受験番号は先頭1桁目がコースと出願する試験方式を示すもので、残り4桁が個別の番号となっています。「開放型選抜」と「一般選抜（法学既修者コース）」の両方に出願を行った場合、個別の番号（下記参照）は同一となります。

< 同一人物が開放型選抜・一般選抜の両方に出願した例 >

[開放型選抜]

9	2	0	0	1
---	---	---	---	---

開放型 個別の番号

[一般選抜]

1	2	0	0	1
---	---	---	---	---

一般選抜 個別の番号

3. 合格後の入学手続は、必ず入学を希望するコース・試験方式の受験番号（5桁）で行ってください。

5 学費と奨学制度について

1. 学費

入学金（入学時）	300,000円	
在学料（年間）	1,000,000円	（2026年度前期・後期 各500,000円）
施設設備費（年間）	300,000円	（2026年度前期・後期 各150,000円）
合計（年間）	1,600,000円	

注1 入学金（入学申込手續金）は、入学2年目から不要です。

注2 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。

注3 本学学部卒業者が入学する場合は、入学金の半額を免除します。

注4 本学の入学手續完了後に、入学の辞退を希望し、指定の期日までに所定の手続で届出をした者には、入学金を除く学費を返還します。詳細は合格者に送付する「入学手續要項」を参照してください。

納入金額・納入期限一覧

試験方式によって、手続き期限が異なりますのでご注意ください。

	手続（納入）期限	納入金額	備考
申込手續金（A 手続）	2025年9月24日（水）	300,000円	入学金相当額
完了手續金（B 手続）	2025年12月2日（火）	650,000円	在学料 500,000円 施設設備費 150,000円
入学手續時納入金合計		950,000円	
2026年度後期分		650,000円	在学料 500,000円 施設設備費 150,000円
初年度納入金合計		1,600,000円	

2. 奨学制度

本学法科大学院では、以下のような充実した奨学制度を準備しています。

(1) 中央大学大学院法務研究科特別給付奨学制度（2025年4月現在）

- ① 第一種特別給付奨学金 入学金を除く学費相当額を給付します。
- ② 第二種特別給付奨学金 入学金を除く学費相当額の半額を給付します。
- ③ 第三種特別給付奨学金 入学金を除く学費相当額の半額を給付します。

●①、②は入学者選抜における成績に基づき選考した者、③は入学後、一定期間の学業成績に基づき選考した者に給付します。

(2) 日本学生支援機構奨学金（貸与、金額は2025年度入学者）

- ① 第一種奨学金【無利子】月額 5万円・8.8万円から選択
- ② 第二種奨学金【有利子】

●月額 5万円・8万円・10万円・13万円・15万円から選択（15万円を選択した場合、4万円または7万円の増額貸与を受けることができます）

●年利上限3%（利率算定方式として利率固定方式／利率見直し方式のどちらかを選択）

③ 授業料後払い制度

本制度は、大学へ授業料（本学では「在学科」）を納付する代わりに、日本学生支援機構が在学科相当額を大学へ振り込む（学生への貸与金を大学が代理受領する）仕組みです。学生の在学科の支払いは、下記の授業料支援金を引いた分のみとなり、修了後に所得に応じて日本学生支援機構へ返還することになります。

【授業料支援金】（最大77万6千円／年）

【生活費奨学金】（授業料支援金に追加で、希望者のみ2万円または4万円／月から選択）

の2つの支援があります。

詳細は Web サイトにて確認して下さい。

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/atobarai/index.html>)

(3) 外部奨学金について

例年4月上旬以降、法科大学院事務課より各種外部奨学金の募集をご案内します。

(4) 金融機関の教育ローン

本学法科大学院の在学学生は提携金融機関の提供する教育ローンを利用することができます。詳細は Web サイト（https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/scholarship/list/e_loan/）にて確認してください。



6 アンケートについて

このアンケートは、本学法科大学院を受験される皆さんの動向を調査し、今後の参考とするために行うもので、統計資料作成以外には利用しません。回答は可否に一切関係ありませんので、皆さんの率直な回答をお願いします。

回答は志願者調書のアンケート回答の記入欄に該当するコードを記入してください。

- A あなたが志望する法科大学院を下表から中央大学も含めて5つまで選び、その志望順位に従って回答欄に該当する大学と希望する修学コースのコードを記入してください。

大学名

11. 中央大学	44. 日本大学	64. 神戸大学	82. 筑波大学
12. 愛知大学	48. 福岡大学	67. 千葉大学	
16. 学習院大学	49. 法政大学	68. 東京大学	
18. 関西学院大学	51. 明治大学	69. 東北大学	
19. 関西大学	55. 立命館大学	70. 名古屋大学	
24. 慶應義塾大学	56. 早稲田大学	72. 一橋大学	
29. 上智大学	57. 大阪大学	73. 広島大学	
33. 専修大学	58. 岡山大学	74. 北海道大学	
34. 創価大学	60. 金沢大学	76. 琉球大学	
39. 同志社大学	61. 九州大学	77. 大阪公立大学	
43. 南山大学	62. 京都大学	78. 東京都立大学	

希望する修学コース

1. 法学既修者コース	2. 法学未修者コース	3. コース分け無し
-------------	-------------	------------

- B あなたが「中央大学法科大学院」を受験しようと決めた最も魅力的な理由は次のうちどれですか。

11. 司法試験に合格する可能性が高いから
12. 6つの法曹像等に即した独自のカリキュラムが整備されているから
13. リーガル・クリニックやエクスターンシップ等、実務基礎科目が充実しているから
14. 実務家教員も含めて、教員スタッフが充実しているから
15. 若手弁護士による実務講師（補助教員）制度や法務研修プログラム等、学修支援体制が充実しているから
16. キャンパスが都心にあり、通学に便利だから
17. 模擬法廷や自習席等の施設が充実しているから
18. 学費が比較的安いから
19. 給付奨学金等、奨学金制度が充実しているから
20. 説明会や相談会の内容が良かったから

- C あなたが「中央大学法科大学院」を受験しようと決めるにあたって、最も参考になった説明会は次のうちどれですか。

21. 一般向け入学説明会 / 法曹養成連携協定校向け入学説明会
22. ロースクールへ行こう！2025☆ロースクール説明会&懇談会（法科大学院協会主催）
23. その他
24. 説明会には参加していない

- D あなたが「中央大学法科大学院」を受験しようと決めるにあたって、中央大学法科大学院 GUIDE BOOK、中央大学 Web サイト以外で最も参考になった広報媒体は次のうちどれですか。

31. Web 広告・特集記事
32. 法科大学院特集雑誌等
33. 法科大学院紹介など進学情報サイト
34. その他

記入コード一覧

出願資格コード

大学を卒業見込の者（早期卒業は除く）	0
大学を卒業した者（早期卒業を含む）	1
外国において、学校教育における16年の課程を修了（見込を含む）した者	2
外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了（見込を含む）した者	
日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了（見込を含む）した者	3
文部科学大臣の指定した者	
大学を早期卒業見込の者	4
本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者	5
大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与（見込を含む）された者	6
専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了（見込を含む）した者	7
大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本学大学院が認めた者	8

大学コード

【国立大学】50音順			
愛知教育大学	0044	高知大学	0106
旭川医科大学	0006	神戸大学	0054
茨城大学	0015	埼玉大学	0019
岩手大学	0009	佐賀大学	0107
宇都宮大学	0017	滋賀大学	0047
愛媛大学	0066	静岡大学	0042
大分大学	0108	島根大学	0104
大阪外国語大学	0052	信州大学	0040
大阪教育大学	0053	千葉大学	0020
大阪大学	0051	筑波大学	0016
岡山大学	0061	電気通信大学	0032
小樽商科大学	0004	東京医科歯科大学	0022
お茶の水女子大学	0031	東京外国語大学	0023
帯広畜産大学	0005	東京学芸大学	0024
香川大学	0105	東京芸術大学	0026
鹿児島大学	0077	東京工業大学	0028
金沢大学	0037	東京水産大学	0030
北見工業大学	0007	東京大学	0021
岐阜大学	0041	東京農工大学	0025
九州大学	0069	東北大学	0010
京都大学	0048	徳島大学	0064
熊本大学	0074	富山大学	0036
群馬大学	0018	豊橋技術科学大学	0085
		長崎大学	0073
		名古屋工業大学	0045
		名古屋大学	0043
		奈良女子大学	0057
		新潟大学	0035
		一橋大学	0033
		弘前大学	0008
		広島大学	0062
		福井医科大学	0090
		福岡教育大学	0068
		福島大学	0014
		北海道教育大学	0002
		北海道大学	0001
		三重大学	0046
		宮城教育大学	0011
		山形大学	0013
		山口大学	0063
		山梨大学	0101
		横浜国立大学	0034
		琉球大学	0078
		和歌山大学	0058
		国立大学校	9990

【公立大学】50音順	
大阪公立大学	1018
北九州市立大学	1028
京都府立大学	1015
熊本県立大学	1032
神戸市外国語大学	1020
国際教養大学	1079
滋賀県立大学	1054
静岡県立大学	1037
下関市立大学	1026
首都大学東京	1085
高崎経済大学	1003
都留文科大学	1007
東京都立大学	1004
東京都立科学技術大学	1035
名古屋市立大学	1013
兵庫県立大学	1082
福島県立医科大学	1002
宮城大学	1056
横浜市立大学	1005
その他の公立大学	9991

【私立大学】50音順	
愛知学院大学	2167
愛知淑徳大学	2301
愛知大学	2165
青山学院大学	2051
朝日大学	2162
麻布大学	2141
亜細亜大学	2052
大阪医科大学	2202
大阪学院大学	2204
大阪経済大学	2205
大阪経済法科大学	2206
大阪芸術大学	2207
大阪産業大学	2209
大阪電気通信大学	2214
大谷大学	2186
大妻女子大学	2054
岡山理科大学	2253
沖縄国際大学	2298
嘉悦大学	2487
学習院女子大学	2437
学習院大学	2056
神奈川大学	2142
川崎医療福祉大学	2379
関西外国語大学	2220
関西大学	2218
関西学院大学	2232
神田外語大学	2338
関東学院大学	2144
北里大学	2057
九州ルーテル学院大学	2432
京都先端科学大学	2188
京都産業大学	2189
京都女子大学	2190
京都造形芸術大学	2378
共立女子大学	2058
共立薬科大学	2059
杏林大学	2060
近畿大学	2221
久留米大学	2276
慶應義塾大学	2062
工学院大学	2063
甲南大学	2234

神戸学院大学	2237
神戸女学院大学	2238
國學院大学	2064
国際基督教大学	2065
国士舘大学	2066
駒澤大学	2067
作新学院大学	2361
札幌学院大学	2003
札幌大学	2002
産業能率大学	2315
志學館大学	2318
実践女子大学	2068
十文字学園女子大学	2419
淑徳大学	2043
順天堂大学	2070
城西国際大学	2381
城西大学	2037
上智大学	2071
尚美学園大学	2462
昭和女子大学	2073
昭和大学	2072
白百合女子大学	2077
相山女学園大学	2171
駿河台大学	2337
成蹊大学	2079
成城大学	2080
聖心女子大学	2081
清泉女子大学	2082
西南学院大学	2277
聖路加看護大学	2083
清和大学	2394
専修大学	2084
創価大学	2085
第一薬科大学	2279
大正大学	2086
大東文化大学	2087
拓殖大学	2089
玉川大学	2090
多摩大学	2362
多摩美術大学	2091
千葉経済大学	2345
千葉工業大学	2045

千葉商科大学	2046	名古屋文理大学	2454	明星大学	2136
中央学院大学	2047	奈良産業大学	2332	桃山学院大学	2228
中央大学	2092	南山大学	2182	山梨学院大学	2158
中京大学	2173	新潟国際情報大学	2397	横浜商科大学	2153
中部学院大学	2428	二松学舎大学	2115	酪農学園大学	2011
中部大学	2175	日本医科大学	2117	立教大学	2137
津田塾大学	2093	日本工業大学	2041	立正大学	2138
鶴見大学	2150	日本女子大学	2121	立命館アジア太平洋大学	2480
帝京大学	2094	日本体育大学	2123	立命館大学	2200
帝塚山大学	2248	日本大学	2116	龍谷大学	2201
桐蔭横浜大学	2350	日本福祉大学	2183	流通経済大学	2029
東海大学	2095	日本文化大学	2313	麗澤大学	2049
東京医科大学	2096	ノースアジア大学	2025	LEC 東京リーガルマインド大学	2544
東京音楽大学	2097	ノートルダム清心女子大学	2256	和光大学	2139
東京家政学院大学	2099	白鷗大学	2333	早稲田大学	2140
東京基督教大学	2366	姫路獨協大学	2342	その他の私立大学	9992
東京経済大学	2100	広島国際大学	2442		
東京工科大学	2334	広島修道大学	2261	放送大学	0991
東京工芸大学	2151	フェリス学院大学	2152	※ 掲載大学については、本学法科大学院への出願実績等にもとづいています。	
東京歯科大学	2101	福岡女学院大学	2373		
東京慈恵会医科大学	2102	福岡大学	2283		
東京純心女子大学	2422	佛教大学	2199		
東京女子医科大学	2104	文京女子大学	2374		
東京女子大学	2103	文教大学	2042		
東京電機大学	2108	平成国際大学	2420		
東京都市大学	2129	法政大学	2126		
東京農業大学	2109	北星学園大学	2007		
東京薬科大学	2110	北陸大学	2300		
東京理科大学	2111	星薬科大学	2127		
同志社女子大学	2196	北海学園大学	2008	【その他】	
同志社大学	2195	北海道医療大学	2005	外国の大学	9993
東邦大学	2112	松山大学	2272		
東邦音楽大学	2039	武蔵工業大学	2129	その他の学校	9995
桐朋学園大学	2113	武蔵大学	2128		
東北学院大学	2019	武蔵野音楽大学	2130		
東北福祉大学	2021	武蔵野大学	2131	大学改革支援・学位授与機構	9996
東洋英和女学院大学	2363	武蔵野美術大学	2132		
東洋大学	2114	明海大学	2038	専修学校	9997
東和大学	2280	明治学院大学	2134		
徳島文理大学	2270	明治大学	2133		
獨協大学	2040	明治薬科大学	2135		
名古屋外国語大学	2353	名城大学	2184		

専攻分野コード

分類	例	コード
人文科学系	文学、外国語、史学、地理学、哲学、宗教学	01
法学関係	法、法律、私法、公法	02
政治学関係	政治学、法政学、行政学	03
商学関係	商学、会計学、商経学	04
経済学関係	経済学、経営学、経済工学	05
社会学関係	社会学、社会福祉学、福祉学	06
理学系	数学、物理学、化学、科学、理学、地学	07
工学系	機械工学、電気工学、土木建築工学、応用工学	08
農学系	農学、農業工学、水産学	09
医学系	医学	10
歯学系	歯学	11
薬学系	薬学	12
看護系	看護学	13
保健関係	栄養学、保健学、医療福祉学	14
商船系	航海、機関、輸送科学	15
家政系	家政学、食物学、被服学	16
教育系	教育学、社会教育学、体育学、心理学	17
芸術系	美術、デザイン、芸術学、音楽、建築	18
その他	総合科学、国際関係、人間関係科学等	19

英語以外の外国語能力コード

試験名称	級・点等ランク	コード
ゲーテ・ドイツ語検定試験	C1以上	G11
ドイツ語技能検定試験	準1級以上	G21
TestDaF	全分野で TDN4以上	G31
DELF/DALF	DELF B2以上	F11
実用フランス語技能検定試験	準1級以上	F21
フランス文部省認定フランス語能力テスト(TCF)	レベル4（400点）以上	F31
韓国語能力試験	4級以上	K11
ハングル能力検定試験	2級以上	K21
中国漢語水平考試（HSK）	5級以上	C11
中国語検定試験	2級以上	C21
中国語コミュニケーション能力検定（TECC）	C 以上	C31
スペイン語検定（DELE）	B2以上	S11
スペイン語技能検定	3級以上	S21

資格コード

公認会計士	A01	社会福祉士	A27
税理士	A02	海事代理士	A28
弁理士	A03	精神保健福祉士	A29
司法書士	A04	公務員	B01
行政書士	A05	修士号学位	C01
中小企業診断士	A06	博士号学位	C02
社会保険労務士	A07	経営学修士（MBA）	C03
宅地建物取引士	A08	ファイナンシャルプランナー（FP）	C04
不動産鑑定士	A09	証券アナリスト	C05
土地家屋調査士	A10	インテリアコーディネーター	C06
測量士	A11	アクチュアリー（保険数理人）	C07
一級建築士	A12	米国弁護士	C08
技術士	A13	米国公認会計士（CPA）	C09
情報処理技術者	A14	米国税理士（EA）	C10
電気工事士	A15	米国版技術士（PE）	C11
電気通信主任技術者	A16	臨床心理士	C12
通関士	A17	介護支援専門員（ケアマネージャー）	C13
総合旅行業務取扱管理者	A18	日商簿記検定試験1級	C14
気象予報士	A19	BATIC（国際会計検定）	C15
医師	A20	その他資格（指定欄に資格名を記入してください）	D99
歯科医師	A21		
歯科技工士	A22		
獣医師	A23		
薬剤師	A24		
臨床検査技師	A25		
介護福祉士	A26		

※ 上記資格コードには主な公的資格等を表記しています。表記された資格の保有の有無により評価が必ずしも有利に働くということではありません。

中央大学法科大学院コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料納入方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

1 Webで事前申込み



**ネット受付
店頭支払いの場合**

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得してください。

- 番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
- 入学検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
- 「検定料収納証明書」には収納印は押印されません。(コンビニ払込時には収納印は不要です)



**オンライン決済
の場合**

画面の指示に従って必要事項を入力し、カード決済手続を行ってください。

- カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>



2 お支払い

ネット受付店頭支払いの場合

7-Eleven

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

LAWSON

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Leppiへ

各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)

各種代金お支払い
マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】
を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

FamilyMart

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

マルチコピー機へ

代金支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】
を入力

お支払い完了です。
下記の手順に従って、「収納証明書」を印刷してください。

オンライン決済の場合

VISA JCB 楽天カード

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、正しければ「確定」を押す

3 出 願

ネット受付店頭支払いの場合

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、所定欄に貼り出願。

入学検定料・選考料 取扱明細書



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

オンライン決済の場合

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷。「収納証明書」部分を切り取り、所定欄に貼り出願。

<注意>
スマートフォンでお申込みになった方は、プリンタのある環境でご利用ください。

入学検定料・選考料 取扱明細書



切り取った「収納証明書」を出願書類の所定の欄に貼付。

■ 納入期間

試験方式	納入期間・郵送出願期間(消印有効)
■ 開放型選抜・一般選抜	2025年 7月 28日(月)～8月 5日(火)

- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 納入期間最終日の「Webサイトでの事前申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

- 一度お支払いになった入学検定料は返金できません。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いになった場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご連絡いたします。

中央大学法科大学院合否速報サイトの操作方法

URL <https://www.go-pass.net/mche/chuo-u-law/>

合否結果の照会方法（PC・スマートフォン共通）

※画像はイメージです

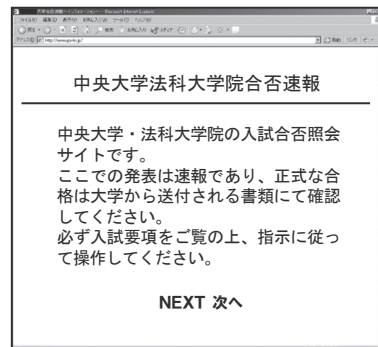
- 1 下記URLを入力するか、QRコードを読み取ってください。

<https://www.go-pass.net/mche/chuo-u-law/>

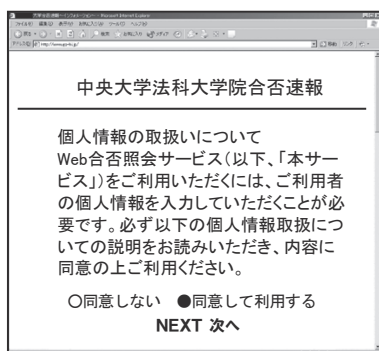


QRコード対応機種で利用できます。対応については、各携帯電話の取扱説明書で確認するか、各携帯電話会社に確認してください。（本学へのお問い合わせには応じかねます。）

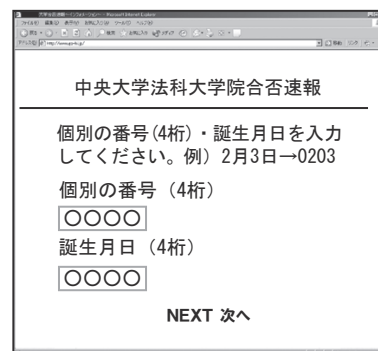
- 2 表示内容を確認し、「NEXT 次へ」を押してください。



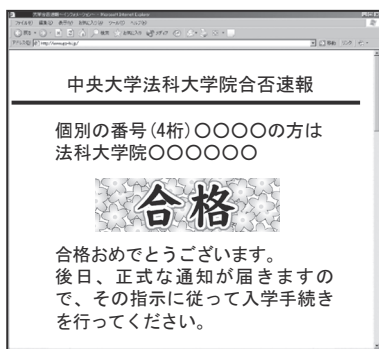
- 3 表示内容を確認して、「同意して利用する」にチェックを入れ、「NEXT 次へ」を押してください。



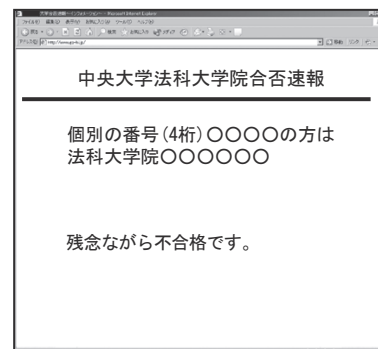
- 4 個別の番号（受験番号の下4桁）・誕生日（4桁）を入力してください。入力後「NEXT 次へ」を押してください。



5 合格の場合



5 不合格の場合



注 意 事 項

- 当サービスでの発表は速報であり、正式な合格は大学から郵送される書類にて確認してください。
- 合否速報サイトをご利用の際には、サイトの個人情報の取扱い規定への同意が必要となります。詳しくは画面上でご確認ください。
- 入学者選抜要項に記載されている合格発表日時より確認できます。確認可能な期間は、開放型選抜・一般選抜は9月12日（金）10時～9月24日（水）22時です。
- 同一コース内で併願している場合は、併願結果が一覧表示されます。
- サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。

- パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- 合格後の手続きにつきましては、後日郵送にて届きます「入学手続要項」の指示に従ってください。
- 本システムの「誤操作」「見間違い」等を理由とした、入学手続きの遅れは認められません。
- 操作方法並びに合否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。

**中央大学
法科大学院事務課入学者選抜係**

【駿河台キャンパス13階】

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5

TEL：03-6261-8540

〈受付時間〉

月～金 10：00～12：30 ／ 13：30～17：00

＜問い合わせ先＞

ロースクール（駿河台キャンパス 法科大学院事務課）

お問い合わせフォーム

<https://www.chuo-u.ac.jp/inquiry/form/?id=26>



法科大学院入学者選抜本部（8/23・24の連絡先）

【後楽園キャンパス6号館2階】

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27

TEL：03-3817-1995

〈受付時間〉

9：00～試験終了時刻まで

中央大学法科大学院公式 web サイト

URL http://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/law/

